

一億総活躍！外国人の自己実現とキャリアデザイン

『「キャリア教育」とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」である』一文部科学省
「キャリア教育」×「日本語教育」という視点で、浜松に暮らす外国人が自立して「なりたい自分」になれるような日本語教育の在り方とは？日本語教育のチカラがもつ可能性について考察していきます。

日時 平成 29 年 2 月 18 日 (土) 13:30 ~ 16:30
場所 浜松市市民協働センター 2F ギャラリー
定員 50 名
参加費 無料
申込み お名前・連絡先を記入しメール (info@globaljinzai.or.jp) まで

<内容>

事業報告 西原鈴子 (国際交流基金日本語国際センター所長)
講演 「キャリアデザインのための日本語教育とその可能性」
宇賀田栄次 (静岡大学学生支援センターキャリアサポート部門准教授)

民間企業での人事責任者や採用コンサルタントとしての経験を経て、45 歳で大学教員に。静岡大学ではキャリア教育、インターンシップ、就職支援などキャリア形成支援を担当し、他大学でもキャリア関連授業を受け持つ。また、未来志向での対話を通じて課題解決を図る「静大フューチャーセンター」を学生とともに運営し、地域との連携や社会人と学生とのネットワークづくりにも取り組んでいる。国家資格キャリアコンサルタント。



パネルディスカッション

「グローバル化が進む地域社会と外国人の自己実現

～市民・大学生と企業の協働による日本語学習の支援体制づくり～」

コーディネーター 池上重弘 (静岡文化芸術大学文化芸術研究センター長、教授)

北海道大学大学院文学研究科修了。同大助手、静岡県立大短大部専任講師、静岡文化芸術大学助教授を経て、2008 年より静岡文化芸術大学教授。専門は文化人類学、多文化共生論。文部科学省、総務省等の有識者会議等の委員や、愛知県、静岡県、浜松市、磐田市等の多文化共生に関わる委員を歴任。日本社会の多文化・多民族化に伴う地域の課題を実証的に研究。主著に『ブラジル人と国際化する地域社会－居住・教育・医療－』（編著、明石書店）。



パネリスト 伊藤真弓 (多文化コンシェルジュ、インドネシア語講師)
榊原正之 (遠州鉄道株式会社ターミナル営業所長)

<主催> 一般社団法人グローバル人財サポート浜松 **<後援>** 浜松市
TEL 053-482-8451 Mail info@globaljinzai.or.jp ※申請中

週1時間、討論など

文部科学省は、日本の高校教育は、意欲の向上につなげる

育 社会人として職に要な能力や態度を育成。特定の活動や指導万国の中学・高校では、で体験的に働く職場体行っているケースが多)学習指導要領では「生路を選択できるよう進する」とされている。

このため、同省は学自的を明確に持たせるため、キャリア教育の内容を具体的に示し、全学校での実施

来年度、普通科の公立高校でどのような教育内容が可能かを調べる調査を、モデル校を選定して着手、で具体的なカリキュ